

## 平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

### 1. 学校概要

学校名 豊橋市立松山小学校

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

所在地 〒 440-0876  
愛知県豊橋市西松山町4番地

E-mail matsuyama-e@toyohashi.ed.jp

Website http://www.matsuyama-e.toyohashi.ed.jp

児童生徒数 男子 139名 女子 157名 合計 296名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( 地域連携 )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### ○生活科「公園探検」

校区の公園で思い切り遊び、楽しんだ。木の実や虫たちも見つけ、いろいろな遊びをした。

松山公園では、二と七のつく日に地域の人が市を出していることを知り、店の人にインタビューもした。

みんな校区の公園が大好きになった。



▲公園内で開かれる「二七の市」

#### ○生活科「見つけたよ！松山の町の“スマイルさん”」



古くから商業の町であった松山小学校区には、店が多い。子どもたちは、広小路商店街や水上ビル商店街などを何度も探検した。花火屋さんや小鳥屋さん、鰹節屋さんなど気になった店の方には、店内を見せていただいたりインタビューをしたりした。がんばっている店の人をスマイルさんと呼び、仲よくなった。

そして、スマイルさんの店に弟子入りし、店の仕事を手伝った。今でも交流が続いている。

#### ○社会・総合「柿を育てよう」



「豊橋の農産物」として名を知られた柿だが、本校は豊橋市の中心にあるため、身近に柿の木がなかなか見られない。そのため、柿ポットを使って「早秋柿」と「次郎柿」を育てた。生産者の方を招き、育てる苦労や喜びを聞き、柿に愛着がわいた。毎日水をやり、育てた柿を収穫する喜びを味わった。

給食ではじめて出された柿パンをほおぼる子どもたちの顔は、満面の笑顔だった。

### ○総合「大好き！豊橋の農産物」キャベツを育てよう

豊橋は、全国でも有名なキャベツの産地。給食の食材としてもよくつかわれている。そのキャベツを市内富士見町の畑で育てた。生産農家の方に指導していただき、苗を植えた。寒風が吹く中、大きく重く成長したキャベツの収穫を体験した。「豊橋のキャベツは、甘くておいしいね」と子どもの感想。



### ○総合「平和教育」

豊橋のユネスコ協会の方々にいらしていただき、体験された豊橋空襲の話や豊橋に残る戦争遺跡などの話をしていただいた。子どもたちは絶対に戦争をしてはいけないと感じた。



### ○「花いっぱい活動」お世話になっている方々に全校で育てた花を贈ろう

「こども110番の家」の方をはじめ松山校区の日ごろお世話になっている方々に感謝の心をこめて花を贈った。

この花は、園芸委員会が中心になって、1年生から6年生までの各学級で植え、水をやって花いっぱい育てた。この鉢は、6年生が学校の代表として、お礼のこぼとともに各家庭に届けた。

地域の方の軒先には、花がきれいに咲き、子どもたちとのつながりを感じる。



○全校活動

「530活動」

「リサイクル活動（アルミ缶集め・ペットボトルキャップ集めなど）」



530（ごみゼロ）活動では、学校内だけでなく近くの公園のごみ拾いや草取りもした。私たちの住む地域をきれいにしたいと考えた。

リサイクル活動では、資源を大切にする意識が向上した。

アルミ缶入れは、ピロティに置き、地域の方もいつでも入れられるようにしている。

海外の子どもたちにポリオワクチンを届けるためのペットボトルのキャップ入れは、箱を透明にした。集まった量がわかるようにした。



（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）